



弥彦神社東参門の桜の様子

# 風誘う桜 新芽息吹く 弥彦山



弥彦神社にて (分水の里)



弥彦村麓地区にて (桜井の里)



弥彦神社にて (グループホーム我が家)



弥彦神社にて (生きがい広場地蔵堂)



足湯でモミモミ (はな広場)



弥彦神社にて (桜井の里)

桜井の里 / 〒959-0318  
新潟県西蒲原郡弥彦村大字麓3036番地  
TEL(0256)94-3939/FAX(0256)94-2552

分水の里 / 〒959-0133  
新潟県燕市新城2479番地2  
TEL(0256)97-7111/FAX(0256)97-7100

生きがい広場地蔵堂 / 〒959-0120  
新潟県燕市分水栄町1番3号  
TEL(0256)97-7117/FAX(0256)97-7119

はな広場 / 〒959-0111  
新潟県燕市横田9948番地1  
TEL(0256)47-1222/FAX(0256)63-4050

# 桜井の里 たより



平成二十五年年度  
桜井の里運営方針  
施設長 土屋 誠

## 1. はじめに

四月より、施設長に就任いたしました。今年には桜井の里の開設二十周年を迎える節目の年です。前任の園長の築き上げたご利用者の生活を大切にすべく支援を継続する中で、私も精一杯努めて参ります。今年度も「ご利用者お一人おひとりに関わる（個別担当制）」ことを継続的な取り組みとして、より生活場面で具体化していき、また桜井の里に來園される皆様が「桜井の里に來て良かった。」と言っていただけにとどまらずに、そして、「私自身や、私の大切な人が利用しても良い施設」と、職員が言えるようになることを目標にして参ります。

## 2. ケアの基本的考え方

- ①生活単位とケア単位を同じにし、あわせてご家族単位も一緒にします。
- ②ご利用者との関わりを個別担当制にします。
- ③入居施設の生活と、そのケアのあり方はグループホームケアを基本とします。
- ④お一人おひとりの生活リズムに合わせたケアを行います。
- ⑤地域に出て行きます。

## 3. 今年度の重点方針

- ①桜井の里に來園される全ての方々を心よりお迎えします。（職員一人ひとりの気持ち、表情、言葉、振る舞い、そして環境を暖かみのある場所にします。）
- ②ご利用者お一人おひとりに関わる個別担当制を、生活場面でより具体的に進めていきます。
- ③ケアプランを通してお一人おひとりの今までの生活を知り、これからの生活をご利用者、ご家族の方々と一緒に考えていきます。
- ④家族懇談会を定例化し、ご家族の想い、考えをお聞きします。
- ⑤職員一人ひとりの担当、役割りに責任を持った仕事をします。（ご利用者担当、役職、委員会、部署の担当等の個々の責任を果たす。）



私も踊る〜♡

## 祝 絆3周年

3月12日、ユニットフロア絆は、3周年を迎え、沢山のご家族と一緒に盛大にお祝いしました。当日は、ラーメンボランティアとして、県内でも有名な祥気様、三吉屋様、飛雄馬様、勝龍様に協力頂き、大勢の方にラーメンを召し上がって頂き、皆さんに喜ばれました。



150杯分、無料提供して頂きました。

「家みたいでいいところだね〜」とおっしゃられていました。



ご家族や、他のフロアのご利用者や職員も喜んでいました。

## あっぱれ！生涯現役

デイサービスやひこ、ご利用の稲葉実様は、以前に大工をされていました。

たたみスペースで一緒になるご利用者がお昼ご飯を召し上がる際に、机が高くて食べにくそうにしていられるところを見て、「よし、俺が作ってやる」と、自慢の腕でちゃぶ台を作成して下さいました。現在89歳の稲葉様は、「15歳の時から80歳過ぎるまで大工をしていたんだ。家を作るのはもうよっぽばらになったけど、これ位ならお手のものだ。」と、おっしゃられていました。



あれよ、あれよの間に立派な「ちゃぶ台」が完成

## 春來たり

暖かな陽射しが降り注ぎ花爛漫の中、お花見に行ってきました。少し肌寒くも感じられましたが桜の名所に行き、沢山の笑顔をも咲かせ心躍るばかりです。素敵な思い出がまた一つ増えましたね。いつまでもお元気でいて下さい。



弥彦村、燕市は桜の名所で賑やかです!!



今年の開花期間は長く、私達を楽しませてくれました



## 『日々の風景』写真館



北国の春を熱唱中。私の十八番です



風船パレーに夢中。がんばれ〜!!



鬼は〜外、福は〜内。今年た〜ん福がきますよ!



なつかしいおはぎをほおばっています



昔話に花が咲きます。元気がったかね〜



ひな壇と記念撮影。子供の頃を思い出します



外で食べるご飯はいつもに増しておいしい



今年も鬼退治ができてガッツポーズ

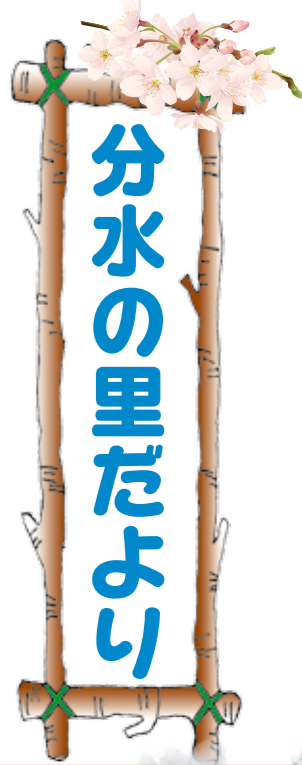


くす玉作りに悪戦苦闘中

## 居酒屋なでしこ開店

今回の居酒屋なでしこは、3月4日に開店したので、テーマが「ひなまつり」。ひなまつりにちなんだ厨房お手製の料理や衣装を職員が身にまとい、皆様をおもてなしました。ごちそうに舌鼓を打ちながら、カラオケ大会も行い、盛り上がりしました。





# 分水の里だより



平成二十五年年度  
分水の里運営方針  
施設長 横山 稔

### はじめに

分水の里も地域に根ざして十四年目。新しい年度がスタートいたしました。今年度は法人全体として、大きく組織改革を行い、「管理課」「生活支援課」「在宅支援課」に区分し、それぞれが現状に則したより質の高いサービスの提供を目指していきたく考えております。特に「在宅支援課」においては、通所介護と短期入所生活介護を一体的なものとし、在宅で、地域で、安心して生活を送れるよう、統一したケアの提供を進めていきます。

### ケアの具体的進め方

- ①ご利用者一人ひとりの生活を尊重します。  
【その人のその人らしい生活を当たり前前に送っていただくための支援、画一的にならない支援を送っていただきます。】
- ②ケアプランの有効的活用を考えていきます。  
【よりご利用者の目線に立った、「ライフサポートプラン」を使用し、生活を送っていただきます。】
- ③リスク管理を徹底していきます。
- ④接遇マナーの向上に気を配ります。  
【人として当たり前前の笑顔とあいさつを徹底していきます。】

職員一同、皆さま方と一緒に生活を楽しくしていきたいと考えておりますので、今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

**おやつ作り**  
おいしくな～れ

**ひな祭り**  
綺麗なおねえさんと♡

**カラオケ**  
大盛りでお腹いっぱい  
歌うの楽しいね♪

**出前**

**習字クラブ**  
クラブ活動にて習字をしました

分水小学校のみなさんが来て下さいました



小学校からカレンダーを頂きました



かぶるの恥ずかしいなあ～



綺麗なおねえさんと♡



歌うの楽しいね♪



大盛りでお腹いっぱい

**節分**

三条本成寺から鬼が来て下さいました。後日、職員も負けじと鬼に変装し節分を盛り上げました。また、余興で職員同士の「お尻相撲」を行い、たくさんの笑いを頂きました!!

**フルーツパフェ作り**  
筆をなんて何年ぶりかしら

**習字クラブ**  
クラブ活動にて習字をしました

## デイサービスセンター さくら



三条本成寺から鬼が来て下さいました。後日、職員も負けじと鬼に変装し節分を盛り上げました。また、余興で職員同士の「お尻相撲」を行い、たくさんの笑いを頂きました!!



筆をなんて何年ぶりかしら



クラブ活動にて習字をしました

**花見ツアー**

デイサービスセンターさくらでは積極的に出かけてきて、今年も弥彦や分水へにぎやかに唄ったり、会話にも桜のような花がさきました。



## デイサービスセンター さくら

**お好み焼きを作りました**

3月中旬、ご利用者の声から、おやつ作り! なるべく、みなさんにおこなっていただき、好評でした!!



**おはぎ・ずんだ作り**  
上手にできました 104歳でこの食べっぷり

**雑祭り・お茶会**  
集中してお茶を立てます  
美味しくできました ハイ!!チーズ!!



上手にできました



104歳でこの食べっぷり



集中してお茶を立てます



ハイ!!チーズ!!



美味しくできました

**現在**

**60代**

**私の自慢の1枚**

**村井藤江様**

こちらの写真は、皆様ご家族と温泉に行かれた時の写真です。大阪で生まれ育って平成十九年新潟に来られ、平成二十年四月GH縁に入所されました。今ではすっかり縁に馴染まれ「ここがわたの家やねん!」と言われます。笑顔がとっても素敵な村井様です。



**桜満開・笑顔満開**

今年は例年より早く桜が開花し、ぽかぽか陽気の中、皆でたくさん“春”を感じながら花見を楽しみました。



# 生きがい広場地蔵堂

デイサービス  
地域の茶の間  
シニアハウス



賃貸住宅から  
生きがい広場地蔵堂・  
シニアハウスへ  
センター長 小杉 裕子

生きがい広場地蔵堂が、この分水栄町で事業を開始して七年目に入りました。今年度もデイサービス事業や燕市からの受託事業であります介護予防事業とともに、ご利用者の主体性を大切に、文字通り「生きがい」のある在宅生活へのサポートをさせて頂きたいと考えます。

また、燕市からの受託事業であります地域包括支援センターも、分水地区の市民の皆様が、住み慣れた地域でその人らしい生活を続ける事が出来るよう、地域包括支援体制の実現に向け、専門性を活かした関わりを大切にしていきたいと考えます。

七年をかけ、事業内容や名称も地域の皆様から覚えて頂いている中ではありますが、今年度、高齢者・障がい者向け賃貸住宅「生きがい広場地蔵堂・複合住宅」を住宅型有料老人ホーム「生きがい広場地蔵堂・シニアハウス」へ移行させて頂く事となりました。入居者の方からのニーズや個々に合わせた食事提供にお応えする為、老人福祉法の届け出を行い、位置づけを明確にし、食のニーズに積極的に応えていく為です。又、専門職員を配置する事で、心身の変化や入居者の皆様の生活がより豊かになる為のサポートをさせて頂きたいと考えます。

# はな広場



平成二十五年度  
はな広場運営方針  
施設長 川村 小津江

(一) はじめに  
はな広場も「季節を感じながら過ごす」ことを大切に3年目を迎えました。  
春夏秋冬それぞれの季節に行われてきた習慣や風習、季節の食べ物や食する等、懐かしいことや新しい事を見つけないが共に時間を共有する暮らしを今年度も営んでいきたいと考えます。  
入居者様の会から発信されるご意見やご要望、ひとり一人の思いや願いをそれぞれの暮らしの中で具体的に実践します。  
地域密着型施設として、施設も地域の一員としての運営推進委員会を通して、地域との馴染みの関係づくりに取り組めます。地域の皆様の介護予防として「体操ひろば」を開催し、人と人とのつながりの【場】の提供、地域づくりの一役を果たしていきます。

(二) 基本理念  
「住み慣れた地域で最期まで  
おひとり一人のこれまでの生活を大切に  
おひとり一人の暮らしを支えます。」

(三) 基本方針  
① 私たちは、季節を感じ、五感に働きかける家庭的な環境を提供し、おひとり一人の時間の流れを大切にします。  
② 私たちは、はな広場に暮らす人、通う人、支える人と共に寄り添い、地域の一員として生活します。  
③ 私たちは、優しい笑顔を絶やさずに、自立心を持ち、相手の立場になって考え、実践できる人を目指します。

## お花見ドライブ

今年はお花見ドライブに行き、桜が満開に咲き誇りとても綺麗で感動しました。

## 弥彦の神社と公園へお花見に来ました!



花より団子(アイス)♪



## おひなさま

衣装を着て記念写真を撮ったり、お茶を点てお菓子を食べたりとても楽しい一日でした。



## 日常風景



## お花見

完成~!!



## ひな祭り



2月は女性から男性へ、そして3月は男性から女性の方へプレゼント

## はな広場の日常風景

カブ!!



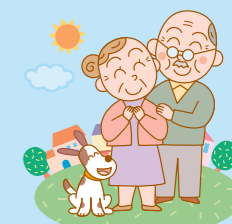


# グループホーム

グループホームは、家庭的な環境の下、皆で楽しく共同生活をしています。

# こいて・我が家・縁

少人数なので気心も知れた仲間と楽しい毎日を元気に過ごしています。



やまぶき秘伝のごま和え



手作りおはぎ

おはぎの握り方？  
私が教えてあげますよ！

日常風景  
昔ながらの懐かしい味を伝えるのが、我が家のお母さん達！  
やっぱり手作りが一番！

我が家のお母さんが作る家庭の味♪



味は…100点満点!!



ふき味噌も出来上がり



白和え

あんこも良いけどゴマもうめだね♪



日常風景  
皆さんのご要望で昔懐かしい堅餅を作りました。もち米を蒸かし餅つき器でついで、豆を入れ一日経ったら切って、みんなで協力して編みました。さすがに私たちの大先輩である皆さんの慣れた手つきにはビックリ！でした。

さっと油で揚げて、美味しい堅餅・・・はよ食べたいね！とみんなで編みました。かた餅の暖簾が出来上がりました♪



だいろの湯に行って来ました。温泉で温まり、お昼を食べてのんびりしました。



私、野菜きるよ～。



みんなで食事準備！  
美味しいご飯作りますよ～



今日のご飯は何かな～???



日常風景  
「おめさん、何か仕事があったらもってきなせ〜」こいてのご利用者は食事準備、下ごしらえ等がとても得意です。野菜の皮むきや胡麻をすったり、もやし芽取り等々、皆さん丁寧です。他にもハサミで紙を切ったり貼ったり得意な事が沢山あります。



♪♪明かりをつけましょ  
ぼんぼりに〜♪♪



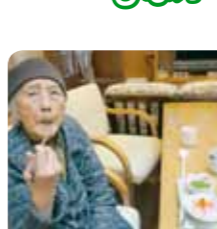
分水の里の雛壇は立派らよお～



春の菜の花はおひたしで・・・♪



ふたり揃ってすまし顔



ひな寿司の出来あがり♪



まん丸い可愛いお雛様が並びました



「鬼は〜外！」  
「福は〜内！」  
元氣よく豆をまきました♡



私にできる  
ろっかねえ？



「こうやって少し力を入れてしっかり巻かんばねんたいね。」



「お〜！優しい赤鬼らのう〜。」



縁の節分  
皆さんの大好きな恵方巻を作り南南東の方向を向いて食べました。午後からは大きな赤鬼登場!!今年一年の無病息災を祈念し豆まきをして楽しいひと時を過ごしました。



ひな祭りはごちそうあり、布芝居や三味線、誕生日会と盛りだくさんの一日でした〜♪♪



三味線の音色に合わせてうたいましょ～



白雪姫の布芝居  
はじまるよ～

いつもの雛祭  
今年のこいてのひな祭りは笑顔が沢山見られた日でした。ひな祭りのご馳走を「美味しいねえ」と召し上がり、地域の片が布芝居「白雪姫」と三味線を演奏してくださいました。また3月3日がお誕生日のご利用者様をお祝いし賑やかな一日となりました。

# 夢・キラリ 職員紹介!

この2ページは、職員の夢や思いに、あるいは法人の取組などにフォーカスしていくページですので、今後ともご声援どうぞよろしくお願いいたします。



思いを込めたシューズ



グループホーム 縁  
リーダー 介護職員 古川原良江

この春から縁あって「縁」に異動となりました。入所者の皆さんの笑顔に支えられながら日々楽しく過ごしています。寺泊の野積から通っています。若かり頃は地元から離れていましたが地元に戻り9年になります。改めて海山の景色、特に信濃川沿いに見る夕日の雄大さには感動を覚えます。これからの目標それは、なにかと理由をつけてずっと休んでいたウォーキングを復活させ!リバウンドをなかった事にしたい!健康的に若々しくいられる様楽しみながら続けていきたいです。新たにシューズを購入していただきます。何気ない日々の小さな幸せを毎日感じられる自分です。



燕市分水地区地域包括支援センター  
管理者 主任 看護師 佐藤敦子

わたしの勤務する地域包括支援センターは、地域のなんでも無料相談所です。介護の相談以外にも、健康問題・家族トラブル・生活苦などのいろいろな相談が飛び込んできます。私生活においては、地元で保護司の活動を始めて5年が経ちました。包括業務で培った相談スキルが更生保護活動にも役立っています。これからもライフワークとして続けていきたいと思っています。



3月に2日間かけ復興のお手伝いのため、現地で打ち合わせを実施



大船渡市で一番茶えていた駅界隈の様子



三陸鉄道も少しづつ復興(盛岡へ向かうリアス線の列車)



7万本を誇る高田松原の現在。大津波で壊れた世界に知れ渡る「奇跡の本松」。今は人口のなにもに変わっている。

## 岩手県大船渡市復興支援のための職員派遣について

かねてより交流のある、岩手県大船渡市の(福)典人会様は、昨年9月に「気仙ボケー座」公演に来訪されましたが、現地はまだまだ復興から程遠く、当法人では「二法人の連携・協力に関する協定」を結び、この4月15日より1年間かけて交代制で常時2名が先方の施設へ出向という形でお手伝いすることになりました。

多くのマスコミで報道された、第18共徳丸。陸地に流されたが、地元でも残すのか、解体、撤去するのか、その答えは容易ではない...



## ある日のリハビリ、機能訓練風景

私達リハビリスタッフをめざすものは、ご利用者の身体機能の維持・向上だけでなく、その方固有の生活支援、そして、何よりもご本人ができること、やりたいことをひとつでも増やすためにリハビリを行うことです。また、他リハビリの専門機関、大きな病院にも劣らないサービスを提供できる体制をめざし、理学療法士(PT)4名、作業療法士(OT)6名、言語聴覚士(ST)1名、そして、しん・きゅう・マッサージ師2名の合計13名が専門職として、鋭意努力しております。(年間を通じ定期的に勉強会を行ったり、皆まじめで元気で仲がいいのが特徴です...)



細かな指の運動、手作業を通じ、気持ちの安定を図るご利用者と作業療法士(横田沙織・デイサービスやひこ配属)



歩行訓練で足腰を鍛えるご利用者と理学療法士(山本香織・特別養護老人ホーム分水の里配属)



言語訓練を行うご利用者と言語聴覚士(宮路 昌・デイサービスセンター桜井の里配属)



「生きがい広場地蔵堂」で機器を使ってパワーリハビリを行うご利用者と理学療法士(佐藤正宗・生きがい広場地蔵堂配属)



職員の異動に伴う歓迎会にて

デイサービスやひこ

リーダー 生活相談員兼介護職員 村上 聖

桜井の里福祉会に入社して9年目となりました。入社よりデイサービスセンター桜井の里、デイサービスやひこで生活相談員兼介護職員として様々な経験を積ませていただきました。ご利用者、ご家族の温かい言葉や職員の皆様に支えられ、あっという間の8年間でした。

今年度より新たに在宅支援課となり、デイサービスやひこのリーダーとなりました。これまでよりもさらに在宅サービスがよりよいものになるように責任感、使命感を持って取り組んでいきたいと思っています。(右手前が本人)



看護学校卒業式にて



特別養護老人ホーム 分水の里

生活支援課リーダー 看護職員 風間 貴子

私はこの3年間で人生が大きく変わりました。一大決心をして通信制の看護学校に入学しました。そしてこの3月に念願の国家試験に無事合格・卒業式を迎えることができました。また勉強をしながら1300gと極低出生体重児ではありましたが出産も経験しました。両手にのようなかわが子もスクスクと育ち大きくなりました。学校の勉強と子育てとの両立は難しく、職場のスタッフや家族の協力なしでは現在の私はありません。勉強して得た知識と、わが子が与えてくれた経験はかけがえのないものだと思っています。しかしまだまだ得ていかなければならないことはたくさんあります。今のこの新鮮な思いを大切にしながら、自己研鑽を続け、ご利用者のその人らしさや笑顔をたくさん引き出せるような関わりをしていきたいと思っています。



空手の大会にて兄弟ともに準優勝



高齢者総合生活支援施設 はな広場

生活支援課リーダー 介護支援専門員 太田由紀美

介護支援専門員の仕事に初めて就き、戸惑いや不安も沢山ありましたが、川村施設長はじめ様々な方に指導を受け、ここまでやって来ました。はな広場開設からライフサポートプランを導入し、入居者の方々お一人おひとりの生活が豊かになるお手伝いを全力で職員一丸なっております。家では小学校6年生と中学校2年生の2人の男児の母親です。2人ともスポーツ少年団に入っており、「大会だ」「遠征だ」と多忙ですが、それが逆にはりあいに、仕事をやる原動力になっています。

現在も、そしてこれからも家族の協力や理解があり、やりがいのある大好きな仕事を続けて行くことができるので、これからも、感謝の気持ちを忘れずに、新しいことにも挑戦しながら、努めていきたいです。



キキとララ

特別養護老人ホーム 桜井の里

生活支援課総括 今井三和子

私には子供が4人います。今では大きくなって一人暮らしや外出しているため、なかなか話す機会もなくなってしまいました。以前のように、パレーボールや野球の応援に行くこともすっかり減り、ストレスを発散する機会が...という状況です。でも、うちにはかわいい「キキとララ」(=ネコの兄妹)がいます。ご利用者様の家より授かった2匹です。話しかけると「にゃおん」「ニャオン」とすり寄ってきます。今のわたしを癒してくれる唯一無二の大切な存在で、「キキとララ」と触れ合うとがんばろう、という気にさせてくれます。「よし、今年もがんばろう!」



第1回の永年勤続表彰時の懇親会(開所時から勤続15年の親会員たち)

特別養護老人ホーム 分水の里

副施設長 青木 裕子

「人と関わっていく仕事が好き!」そう思って福祉の世界に飛び込みました。あっという間に30年余りが過ぎ、そのうち20年を桜井の里福祉会で過ごしてきました。開設時、一日をどう過ごしていただいたら良いかわからず、いつかたまたまっていた私達職員の指導者にご利用者でした。お給料をいただくにはあまりにも素人に近く、今更ながら申し訳なかった気持ちでいっぱいですが、同期を始め、ご利用者、ご家族様とても多くの方たちとの出会いがあって、励まされてきたからだと思います。この場を借りて、「ありがとう」。これからは支えてくださった方達に感謝しながら、積み重ねてきた経験を少しでも伝えていけたらと思っています。(後ろから2列目右から3人目が本人)



ご利用者とご一緒に



高齢者総合生活支援施設 はな広場

在宅支援課主任 介護支援専門員 山崎 秀則

40歳まで、あと一歩となり心身共にだましが利かない年齢になりました。趣味の、「釣り」「スポーツ」「車」「畑」への時間も少なくなり、仕事では役割や責任を任せられる立場から仕事にかかる時間が大きくなっています。ONとOFFの切替の大切さを感じています。上手く行かなかった時にご利用者から「何があったの?」「どうしたの?」と声をかけられました。

介護は、人と人とのつながりであり、対する人が心豊であれば、自身も豊かになると思います。見ていて下さるご利用者へ心配が無いよう自分自身の生活の在り方について、考えて行こうと思います。時間の有効活用や責任・使命感で抱え込まず部署のチームとして行動ができるようにし、自身の充実感からご利用者の生活が豊かになる様支援をしていきたいです。

新たな20年に向かって



桜井の里福祉会  
常務理事・総合施設長  
佐々木勝則

法人からの  
お知らせ!!

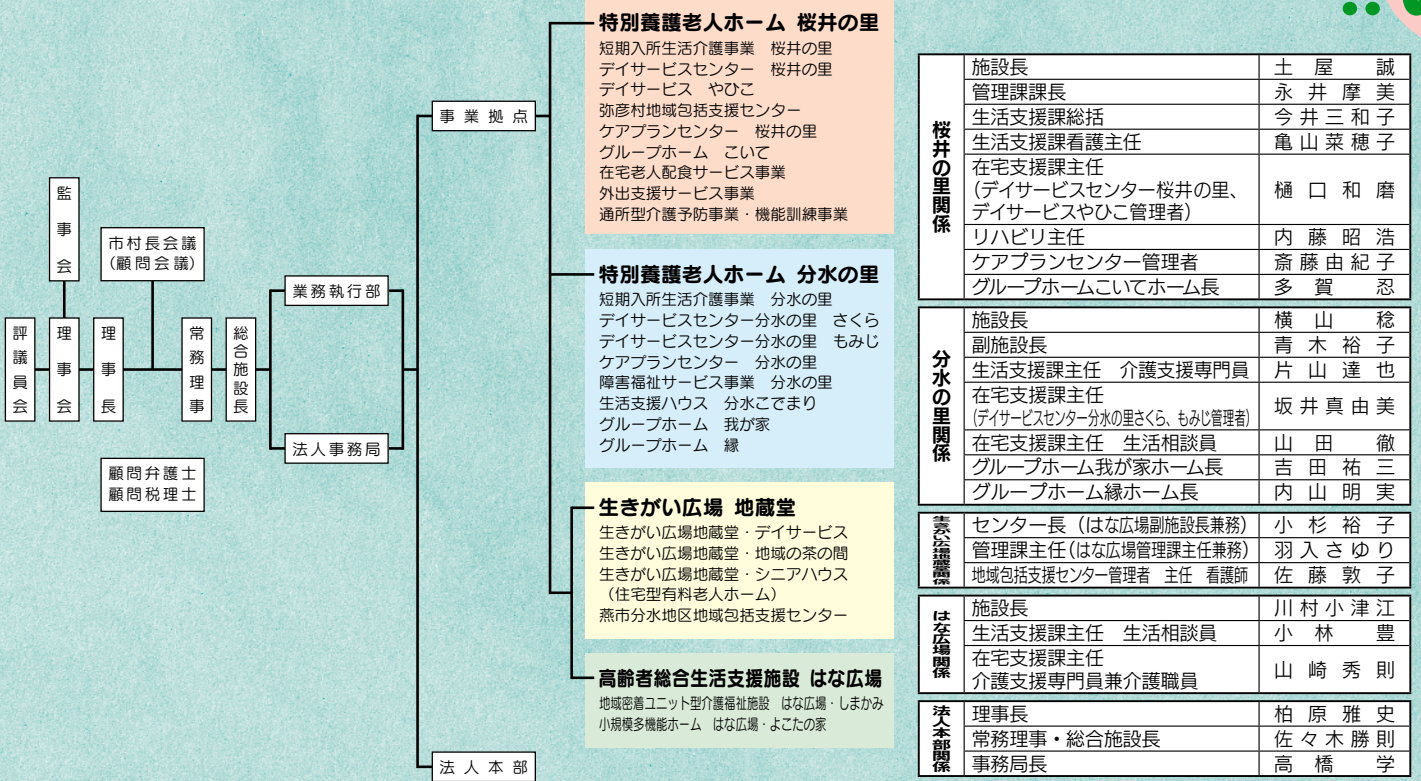
本年度、桜井の里福祉会は、法人設立20周年を迎えます。これもひとえに、ご利用者・ご家族・地域住民の方々と、設立時よりご支援いただいている弥彦村・燕市・新潟市の行政の方々のおかげと感謝しております。この間、当法人は地域に必要とされるサービスを少しづつ拡充し、現在29事業、職員数も350人を超える組織になりました。

私達は、「障がいを持っても、自分のことは自分でしたい、自分らしくいきたい」という、誰もが望む事が可能になるように、ケア現場の力量を上げて行かなければなりません。また、誰もが人生設計の中で、身内の「介護」を組み込まなければいけない時代になり、それをどう支えていくか、具体的に実行していかねければなりません。超高齢社会の本番はこれから20年です。今まで育てていただいたことに感謝し、新たな20年に向かってしっかりと歩みを続けなければならぬと思います。

## 法人の組織・体制が大きく変わりました

～平成25年度 組織図及び主な職員の一部～

大きなところでは、入所系のサービスを生活支援課、ショートステイ、デイサービスを中心に在宅系のサービスを在宅支援課とし、利用者により深くかわり、必要なサービスを途切れることなく連動させ、その人固有の生活・支援をめぐすものです。今回は、新しい組織・体制と主な職員の一部を紹介いたします。



### 入札結果

4月4日、4社にて利用者送迎用車輛合計4台の入札を行い、(有)深澤車体整備工場が、12,553,265円で落札しました。

燕市分水地区限定



### 配食サービス開始

問い合わせ先/特別養護老人ホーム桜井の里  
TEL (0256) 94-3939

当法人では、平成10年より弥彦村様より委託を受け、村内在住のご高齢者に夕食のお弁当をお届けする配食サービス事業を行なっております。このたび、燕市分水地区のお弁当のお届けを求める声に応えるべく、今までの経験を活かし、独自に分水地区でサービスを開始することとなりました。詳しい内容はぜひお問い合わせ下さい。(1食おかずとご飯で550円(税込))

管理栄養士による安価で栄養バランスの取れたお弁当を、1食からお届け可能

### 編集後記

私どもの事業所界隈には、「桜の名所」といわれるところが多数あります。4月の年度替りは他の業界に比べ多忙を極める時期ですが、「桜」を見ると精神的にとてもいやされます。今年の開花は早かったですが、以外と花が咲いている期間は少し長かった気がします。温泉や史跡もありますので皆様も機会があれば、ぜひ当地にお越し下さい。



ホームページアドレス: <http://www.sakurai-fukushi.or.jp>